

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【公開番号】特開 2003-228050 (P2003-228050A)

【公開日】平成 15 年 8 月 15 日 (2003.8.15)

【出願番号】特願 2002-27485 (P2002-27485)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 F 1/1334

G 0 2 F 1/1337

【F I】

G 0 2 F 1/1334

G 0 2 F 1/1337 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 12 月 22 日 (2004.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対向する 2 枚の基板間に液晶材料を封止した液晶表示装置であって、  
 前記液晶材料は、  
 光又は熱により重合する重合性成分と、重合開始材と、液晶組成物とを含み、  
 前記重合開始材の前記液晶材料中の濃度  $x$  が、  
 $0 < x < 0.002$  (wt%)

であることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の液晶表示装置において、  
 前記重合性成分は、紫外線の照射により重合すること  
 を特徴とする液晶表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の液晶表示装置において、  
 前記重合性成分の前記液晶材料中の濃度  $y$  は、 $0 < y < 10$  (wt%) であること  
 を特徴とする液晶表示装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の液晶表示装置において、  
 前記重合性成分は、ジアクリレートであること  
 を特徴とする液晶表示装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の液晶表示装置において、  
 前記重合性成分の重合前の前記液晶組成物中の液晶分子は、前記基板面に対してほぼ垂  
 直に配向していること  
 を特徴とする液晶表示装置。

【請求項 6】

光又は熱により重合する重合性成分を含有する液晶材料を基板間に封止し、  
 前記液晶材料に電圧を印加しながら前記重合性成分を重合して駆動時の液晶分子の配向  
 方向を規定する液晶表示装置の製造方法において、

前記液晶材料中の重合前の重合開始材の濃度  $x$  は、 $0 < x < 0.002$  (wt%) であること

を特徴とする液晶表示装置の製造方法。

【請求項 7】

請求項 6 記載の液晶表示装置の製造方法において、  
前記重合性成分は、紫外線の照射により重合すること  
を特徴とする液晶表示装置の製造方法。

【請求項 8】

請求項 6 又は 7 に記載の液晶表示装置の製造方法において、  
前記液晶材料中の重合前の前記重合性成分の濃度  $y$  は、 $0 < y < 10$  (wt%) であること

を特徴とする液晶表示装置の製造方法。

【請求項 9】

請求項 6 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の液晶表示装置の製造方法において、  
前記重合性成分は、ジアクリレートであること  
を特徴とする液晶表示装置の製造方法。